



Alumni の動き

◆ 留学生に向けて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急生活支援を行いました



令和2年6月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生活に困窮する等厳しい状況にある留学生に対し、岡山大学 Alumni（全学同窓会）から緊急生活支援を行いました。岡山大学の正規課程に在籍する外国人留学生約600人を対象に、緊急の生活支援金として、一人1万円を支給しました。岡山大学国際部及び財務部のご協力のもと、スムーズに受け渡しを行うことができました。文化や習慣が異なる環境で生活を送る外国人留学生の生活費の一助となればと考えています。

https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20200629.html

◆ 就職活動を行う学生支援のため、活動先の宿泊施設の借上げを行いました

都市部で就職活動を行う岡山大学生を対象に、宿泊費の負担軽減を目的として、令和2年6月中旬から7月にかけて、東京・大阪で短期滞在用の宿泊施設の借上げを行いました。

東京ではシェアハウスに男女各1室、大阪ではビジネスホテルの1室を無料で提供しました。約1か月半の間で東京と大阪で合わせて20泊以上の申請があり、複数回利用している学生も見られました。岡山大学 学生総合支援センターへ申請することで利用できるよう、手続き面での学生の負担軽減をはじめ、同センターには多大なご協力をいただきました。今年就職活動は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年どおりに進まないこともあると思いますが、岡山大学 Alumni（全学同窓会）として、少しでも在学生の支援ができればと考えています。

https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20200807.html

岡山大学の動き

◆ コロナ禍の学生と地域飲食店への支援プロジェクトを実施した学生3人を学長表彰



7月3日、新型コロナウイルスの影響を受けた本学の学生と、地域の飲食店双方を支援するプロジェクトを企画・実施した槇遙希さん（法学部4年）、宮本泰輔さん（法学部4年）、林田圭さん（大学院教育学研究科2年）に槇野博史学長から表彰状を授与しました。同プロジェクトは槇さんが発案し、宮本さん、林田さんの協力を得て、「コロナがなんじゃ！WIN&WIN学生プロジェクト 岡大生の食支援×地域飲食店の活性化」という企画名で、6月1日～12日の平日に実施。「岡山大学学都基金」が資金面をサポートし、津島キャンパス周辺の飲食店から1食500円程度で購入した弁当を1日あたり300～500食用意して、9店舗の協力を得て10日間で3900食を本学学生に配布しました。槇さんは「学生だけではなく保護者の方からもお礼のメッセージをいただいた。多くの方に喜んでいただけてプロジェクトは成功だったと思う」と話しました。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9505.html

◆ 岡山大学病院が高梁医師会および高梁市と、高梁市地域医療連携に関する協定を締結

岡山大学病院は令和2年7月22日、一般社団法人高梁医師会および高梁市との三者間における「高梁市地域医療連携に関する協定」を締結しました。

協定は、市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活ができ、市域を越えて切れ目のない適時適切な

医療を提供することが目的。今後は本協定に基づき、救急医療体制の確立、地域医療を推進するための人材育成・交流、災害時等の医療体制の構築など8項目において、三者が相互に連携・協力を図っていきます。



この日、本学鹿田キャンパスで調印式を行い、本院の金澤右病院長、一般社団法人高梁医師会の仲田永造会長、高梁市の近藤隆則市長が協定書に調印しました。金澤病院長は、「本院の特色である高度な医療、人材育成などの分野を生かし、高梁市との連携をさらに深めていきたい」とあいさつしました。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9551.html

◆次期岡山県環境基本計画の策定に向けた「岡山大学エコミーティング」を、県との共催で開催

本学環境理工学部は8月3日、岡山県との協同により、次期岡山県環境基本計画の策定に向けた「岡山大学エコミーティング」を環境理工学部棟で開催しました。

岡山県環境基本計画は、岡山県の環境保全に関するさまざまな施策を推進する上での羅針盤となる計画です。将来の岡山県が目指すべきより良い環境を見定めるためには、行政だけでなく、未来を背負って立つ学生の協力が必要不可欠と考えた県の呼びかけにより実施されました。県職員6人と、環境理工学部専門教育科目「実践型水辺環境学及び演習」を履修している2年生26人がグループワークを実施し、県の環境の将来像について議論しました。

テーマは基本目標「地域から取り組む地球環境の保全」、「循環型社会の形成」、「安全な生活環境の確保」、「自然と共生した社会の形成」の4つ。対面でのグループワークは新型コロナウイルスの飛沫感染防止対策のため、お互いの間にアクリルパーティションを設置して行いました。また、リアルタイムで環境管理工学科の3年次以上の学生約40人がオンライン参加し、チャットで意見を交わしながら参考となる情報を提供して、議論が深まりました。議論の結果は全体発表で共有し、県は得られた意見を参考に基本計画の素案の策定を進めます。

環境理工学部では、今後もより良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向けて、このような機会を通して協力していきます。https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9573.html



◆新型コロナ禍に負けず「卒業生が現役生にエールを送る会」を開催

県内で活躍する卒業生と現役生がオンラインで交流



地域総合研究センターは8月1日、岡山大学の地域活動拠点「西川アゴラ」へ岡山県内で活躍する卒業生3人を招き、オンラインシステム(ZOOM)を用いて現役生にエールを送る会を開催しました。

新型コロナ禍の影響で、学生たちの日常活動が大きく制約を受ける中、現役生を元気づけると同時に、「ウイズコロナ対応」を視野に入れながら地域の仕事現場について学んだり就活に役立ててもらうために企画。まちづくり系サークルの現役学生など約20人が自宅から参加しました。会では、岡山県備中県民局で地域広報の企画を担当している岡本洋美さん(大学院社会文化科学研究科修了)、岡山市御津支所で技術職として道路や公園、農林関係の業務を担当している恒藤祐輔さん(大学院環境生命科学科修了)、萩原工業の工場最前線で活躍中の板谷尚弥さん(経済学部卒業)が、各人30分間、仕事の内容、職場環境、やりがいなどを紹介。志望動機、就活の苦労話などを話しました。現役生との活発な質疑応答も行われました。

志望動機、就活の苦労話などを話しました。現役生との活発な質疑応答も行われました。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9562.html

【発行元】



岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 (岡山大学 総務・企画部 総務課内)

Tel: 086-251-7019 Email: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>